

2回生 必修教科「国語」授業のシラバス

教科名	国語	科目名	単位数	140 時間
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。			
教科書	国語2（光村図書）	副教材	WinPass 中学国語2（文理） 国語の積み上げ2年生【単元テスト】（明治図書） 国語便覧【北海道版】（浜島書店）	

1 学習の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
 (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 学習の方法

- (1) 持ち物は、教科書・ノート・ファイル（3点セット）です。他に必要なものがある時には、授業時に連絡します。
 WinPass（ワーク）は、主に長期休業課題や日常の家庭学習用、自習課題用として使用します。
 (2) 新しい単元に入る時は本文を全文読みましょう。
 (3) わからない言葉は自分でどんどん調べましょう。
 (4) 授業について
 ①説明的な文章の場合は形式段落、意味段落に分け、作品の構成を理解し、筆者のものの見方や考え方を理解することを目標にしましょう。
 ②文学的な文章の場合、登場人物の心情を場面ごとに丁寧に読み取り、自分だったらどうするのかという想像の追体験を通して、筆者の作品を通しての主張を読み取ることを目標にしましょう。
 ③発問については、必ず自分で答えを出し、他者の意見や解答例と比較しましょう。

〈学習アドバイス〉

- 「考える学習（例：【心情理解】【内容理解】【構成】【作文】など）」と「覚える学習（例：【漢字】【表現技法】【文法事項】【慣用句】【仮名遣い】など）」を使い分けましょう。覚える内容を覚えなければ、活用することもできません。
 ○「予習」は、「新出漢字や新出語句の意味や用法を辞書で調べること」や「教科書の該当ページに目を通しておくこと」などがあげられます。「復習」は、「その日の授業で理解できなかったところ」や「やり残したところ」の見直しが主になります。学んだことや考えたことを定着させるために必ずその日のうちに行いましょう。基礎期（1、2回生）のうちは、特に「復習」を中心に行うとよいでしょう。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
②思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
③主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。

(2) 評価の方法（以下観点①～③は「(1) 評価の観点」と対応する）

観 点	評価材料	定期 考 査	単元 テ ス ト	各種 テ ス ト	実技 実 習	発言 発表	作品	レポ ー ト	ノ ー ト	ワー ク シ ー ト	討 議	Win Pass	課題	日常 取 組
①知識・技能		○	○	○		○			○	○			○	○
②思考・判断・表現		○	○	○		○			○	○			○	○
③主体的に学習に取り組む態度						○			○	○		○	○	○

〈担当者からのメッセージ〉

- 各単元の終了時には、ノートの回収をします。調べたことや、自分の意見を書いてきちんと提出しましょう。
 ○配布したプリントや小テストなどは必ずファイルにとして整理し、復習の際に確認しましょう。
 ○ノートは自分にとっての重要な参考書がわりです。見やすく復習しやすいようにわかりやすくまとめましょう。

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探求心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊 重の心	強くし なやか な心身	日本人 としての 誇り	多様性 の尊重
関心 ・意欲	問題 発見力	情報 収集力	論理的 思考力	共感的 態度	意見交換 ・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心をもち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることがなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さや健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画

※【知識・技能】→【知・技】、【思考・判断・表現】→【思・判・表】、【主体的に学習に取り組む態度】→【態】として表現しています。

月	学習内容	評価の観点	考查	資質・能力
1	広がる学びへ			
4	見えないだけ	【知・技】詩の中に出てくる好きな言葉や表現を、理由と共にまとめている。 【態】進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。		ACDEFH K
	アイスブランク	【知・技】登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して、作品を読んでいる。 【思・判・表】「ぐうちゃん」の言動から特徴を捉え、他の登場人物との関係を人物相関図にまとめている。 【態】積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。		
	【聞く】問いを立てながら聞く	【知・技】提案された意見とそれを裏付けるための根拠を区別して捉えている。 【思・判・表】 ・提案内容を理解し、その要点を的確にメモしている。 ・意見と根拠の結び付きに注意して聞き、疑問点や確認したい点を明確にしている。 【態】進んで論理の展開などに注意して聞き、今までの学習を生かして疑問点や確認したい点を考えようとしている。		
	枕草子 【書く】自分流「枕草子」を書こう	【知・技】現代語訳や語注を手掛かりに「枕草子」を読み、作者のものの見方や考え方を捉えている。 【思・判・表】 ・作者の考えと自分の考えとを比較し、感じたことをまとめている。 ・生活を振り返って、自分ならではの季節感を表すものを見つけている。 【態】進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。		
5	情報整理のレッスン 思考の視覚化	【知・技】問題 1～3 に取り組み、情報どうしの関係を図で表している。 【態】学習課題に沿って、積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使おうとしている。		
	多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る	【知・技】集めた情報を表や図にまとめ、整理している。 【思・判・表】調べてみたい職業を決め、知りたいことに適した方法を考えて、情報を収集している。また、収集した情報を分類・整理し、自分の目的に合うものを取捨選択している。 【態】粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。		
	漢字 1 熟語の構成 漢字に親しもう 1	【知・技】熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。		
2	多様な視点から			
6	クマゼミ増加の原因を探る	【知・技】文章が六つの部分でできていることを理解し、線や矢印を用いてそれらの関係を整理している。 【思・判・表】 ・筆者の主張を捉え、それと仮説 1～3 との関係を理解している。 ・文章中の図表やグラフが何のために示されているのかを、対応する文章を基に考えている。 【態】積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。		ABCDEF GHIKLM
	思考のレッスン1 具体と抽象	【知・技】問題 1、2 に取り組み、複数の情報をまとめて抽象化したり、言葉の意味を具体例を挙げて説明したりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。		
	魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする	【知・技】相手が自ら動きたいと思えるような言葉や表現を用いてプレゼンテーションをしている。 【思・判・表】 ・アピールしたい点が効果的に伝わるように話の構成を工夫している。 ・プレゼンテーションソフトやフリップなどを用いて、提案内容が視覚的にもわかりやすくなるよう工夫している。 【態】粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。		
	漢字に親しもう 2	【知・技】文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。		
	文法への扉 1 単語をどう分ける？	【知・技】自立語にどんな品詞があるかを知り、それぞれが文の中で果たす役割について理解を深めている。 【態】今までの学習を生かして、積極的に自立語について理解を深めようとしている。	中間考查	
7	メディアを比べよう メディアの特徴を生かして 情報を集めよう 「自分で考える時間」をもとう	【知・技】情報メディアの特徴を、表や図などにまとめている。 【思・判・表】 ・適切な情報を得るためには、メディアの特性を捉え、発信者や配信日時、その文章が書かれた目的などを確認することが重要であると気づいている。 ・同一の話題について書かれた複数の情報メディアを比較し、それぞれの特徴について考えている。 ・目的や状況に応じて、どのようなメディアで情報を集めたらよいか、考えている。 【態】粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。		
	書写 2 学習活動や日常生活に生かして書こう	【知・技】さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列について理解して書いている。 【思・判・表】さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列について考えている。 【態】さまざまな形式に合わせた配列を考え、漢字と仮名の調和に習熟しようとしている。		
3	言葉と向き合う			
	短歌に親しむ 短歌を味わう 【書く】短歌を作ろう	【知・技】情景などを表す語句に着目して作品を読み深めている。また、情景や心情が生生きと伝わる言葉を選んで短歌を創作している。 【思・判・表】 ・複数の短歌を比較し、言葉の選び方や順序にどのような特徴や効果があるかを考えている。 ・好きな一首を選び、自分の知識や経験と結び付けて感想を書いている。 ・自分の思いが伝わるように、学習した短歌の形式や表現の工夫を参考にして短歌を作っている。 【態】進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。		ADEIL
	言葉の力	【知・技】言葉に対する筆者の考え方を捉え、本や文章には、筆者の考え方が書かれていることや、それに触れることで自分の考えを広げたり深めたりできることを理解している。 【思・判・表】言葉に対する筆者の考え方について自分の考えをもち、話し合っている。 【態】進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。		
	言葉 1 類義語・対義語・多義語	【知・技】類義語・対義語・多義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。 【態】今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解しようとしている。		
	言葉を比べよう もっと「伝わる」表現を目ざして	【知・技】抽象的な概念を表す言葉について理解し、類義語の微妙な違いを考えることを通して語感を磨いている。 【態】今までの学習を生かして、積極的に抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨こうとしている。		
8	読書を楽しむ	【知・技】活動を通して本の魅力を感じ、今後どんな本を読みたいかを考えている。 【態】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。		

	翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま 読書コラム 「わからない」は人生の宝物 読書案内 本の世界を広げよう	【知・技】翻訳の違いによって作品の印象が異なることを知り、他の翻訳作品を楽しもうとしている。 【思・判・表】 ・二人の翻訳者による「星の王子さま」を比較し、表現の違いによる作品の印象の違いについて発表している。 ・これまでの読書生活を振り返り、豊かにするためにできることを具体的に考えている。 【態】進んで表現の効果について考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。	期末考査	
9	書写3 一 行書を深めよう 二 行書と仮名を調和させて書こう	【知・技】点画の連続や配列の書き方を理解して書いている。 【思・判・表】点画の連続や配列の書き方を確かめ、自己の課題を考えている。 【態】点画の連続や配列の書き方に興味・関心をもって取り組んでいる。		
4 人間のきずな				
	盆土産	【知・技】登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、それらが作品に与える印象を述べている。 【思・判・表】登場人物の言動から人柄や心情を読み取り、それらが話の展開や作品の印象にどう関わるかを捉えている。 【態】粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。		ABCDEF HJLM
	字のない葉書	【知・技】表現に着目して人柄や心情を読み取り、それを生かして他の随筆を読んでいる。 【思・判・表】前半部分と後半部分の人柄や心情の描かれ方を比較し、表現の効果について考えている。 【態】進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。		
1 0	聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す	【知・技】どのように質問をすると、相手がさらに話したくなるかを考えている。 【思・判・表】 ・話の要点や全体像を考えながら聞き、話を広げたり深めたりする質問をしている。 【態】粘り強く論理の展開に注意して聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出す質問をしようとしている。		
	表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く	【知・技】 ・何かをお願いする文面などにおいて、どのような言葉を選ぶと、相手に引き受けてもらえるかを考えている。 ・相手や目的に応じて、敬語を適切に使って通信文を書いている。 【思・判・表】自分の思いや考えが伝わるように、具体例を加えたり、表現の工夫をしたりして通信文を書いている。 【態】積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。		
	[推敲]表現の効果を考える	【知・技】手紙を推敲し、適切な敬語に書き改めている。 【思・判・表】読み手の立場に立って手紙を推敲し、気持ちがより伝わるような表現に書き改めている。 【態】粘り強く文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。		
	言葉2 敬語	【知・技】敬語を使う生活場面を想定し、敬語の働きについて理解を深めている。 【態】今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。		
	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3	【知・技】 ・文脈や言葉の意味に注意して、漢字を読んだり、書いたりしている。 ・同音異義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。 【態】学習課題に沿って、積極的に同音異義語を理解し、漢字を読んだり書いたりしようとしている。		
5 論理を捉えて				
	モアイは語る ——地球の未来	【知・技】筆者の意見（主張）がどのような根拠によって支えられているかを理解し、その根拠が適切かを吟味している。 【思・判・表】 ・文章全体の構成を捉え、意見と根拠の結び付きや論の進め方を吟味している。 ・自分の知識や体験と重ね、筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめている。 【態】粘り強く論理の展開について考え、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。		ABCDEF H
	思考のレッスン2 根拠の吟味	【知・技】問題 1、2 に取り組み、根拠を吟味している。 【態】今までの学習を生かして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。	中間考査	
1 1	根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く	【知・技】自分の意見を支えるための適切な根拠を選んでいる。 【思・判・表】根拠となる事実を具体的に示したり、想定される反論に対する意見を示したりしている。 【態】粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。		
	漢字に親しもう4	【知・技】文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。		
	[討論]異なる立場から考える	【知・技】賛成・反対それぞれの立場の人が、根拠となる①～⑧の事実から、どんな意見を述べるのかを考えている。 【思・判・表】同じ情報を基にしたり、同じ観点で考えたりしても、立場によって異なる意見になり得ることに気づいている。 【態】進んで意見と根拠の関係について理解し、今までの学習を生かして異なる立場の人の意見を想定しようとしている。		
	立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する	【知・技】説得力のある根拠と共に、意見をまとめている。 【思・判・表】 ・地域や社会で話題になっていることの中からテーマを決め、異なる立場の人の考えを予想しながら考えをまとめている。 ・互いの意見の共通点や相違点、話し合いの論点を踏まえて話している。 【態】進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。		
1 2	音読を楽しもう 月夜の浜辺	【知・技】詩の中の語句に着目し、詩全体の世界を豊かに想像している。 【思・判・表】詩の中の反復表現、対句表現、反語表現に着目し、その効果を考えている。 【態】進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を朗読しようとしている。		
6 いにしえの心を訪ねる				
	源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語	【知・技】 ・漢語を交えた独特の調子とリズムを捉えて朗読している。 ・冒頭部分の現代語訳を読んで、「無常観」を感じ取っている。 【態】進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、学習課題に沿って朗読しようとしている。		AFIL
	扇の的 ——「平家物語」から	【知・技】 ・古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。 ・与一や義経の言動、扇の的を射落とした後の人々の反応に着目し、古人のものの見方や考え方を捉えている。 【思・判・表】「扇の的」での与一の言動や「弓流し」の場面での義経の言動の意味について考え、作品を読み深めている。 【態】進んで登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。		

	仁和寺にある法師 ——「徒然草」から 【書く】人物の特徴を捉えて 論じよう	【知・技】 ・古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。 ・現代語訳や語注などを手掛かりにして、法師の言動やそれに対する作者のものの見方、考え方を理解している。 【思・判・表】 ・法師と同じような経験がないかを踏まえて、考えたことを話し合っている。 ・文章の構成を工夫して、古典の登場人物について論じる文章を書いている。 【態】積極的に考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。		
	漢詩の風景	【知・技】漢文特有の言葉遣いや調子を意識して朗読している。 【思・判・表】好きな漢詩を選び、気に入った表現や句を引用しながら、構成や表現の効果を伝え合っている。 【態】進んで作品の特徴を生かして朗読し、学習課題に沿って好きな漢詩を選び、その理由を述べようとしている。		
7 価値を語る				
1	君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しさ	【知・技】 ・筆者が、どのような例示（具体）を基に、「最後の晩餐」を「カッコいい。」（抽象）と述べているのかを理解している。 ・二つの文章を比較し、それぞれの特徴や共通点・相違点を表に整理している。 【思・判・表】 ・二つの文章に書かれていることを比較したり、関係づけたりしながら、それぞれの文章が書かれた目的や意図を考えている。 ・文章の構成や表現の特徴について、二つの文章を比較して発見したことを発表している。 【態】粘り強く観点を明確にして文章を比較し、今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。		ABCDEF JM
	魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く	【知・技】作品の魅力を伝える言葉にはどんなものがあるかを考え、より効果的な語句や表現を選んでいる。 【思・判・表】 ・作品の魅力が伝わるよう、作品に描かれている様子を具体的に説明している。 ・友達と鑑賞文を読み合い、意見交換をすることで、自分の鑑賞文のよさや改善点を見いだしている。 【態】進んで表現の効果を考えて描写し、今までの学習を生かして鑑賞文を書こうとしている。		
2	漢字に親しもう5	【知・技】文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	期末考査	
	文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。	【知・技】用言の活用形と活用の種類について、語例を基に理解している。 【態】今までの学習を生かして、積極的に単語の活用について理解しようとしている。		
	研究の現場によこそ 日本に野生のソウやサイが いた頃 クモの糸でバイオリン 読書案内 本の世界を広げ よう	【知・技】教材文を通して研究者の考え方や探求心に触れ、研究に関わるさまざまな本を読もうとしている。 【思・判・表】教材文を自分の知識や経験と結び付けて読み、感想を伝え合っている。 【態】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。		
	書写3 身のまわりの多様な表現を とおして文字文化の豊かさ にふれ、効果的に文字を書こ う	【知・技】楷書や行書の筆使いや字形に気をつけて書いている。 【思・判・表】楷書や行書の筆使いや字形、筆記用具、用紙について考えている。 【態】三年間の学習を生かして、楷書や行書の筆使いなどの習得に自己の課題をもって取り組んでいる。		
8 表現を見つめる				
	走れメロス 【書く】作品の魅力をまとめ、語り合おう	【知・技】作品中の漢語を和語に置き換えると、印象がどのように変わるかを考えている。 【思・判・表】 ・「メロス」や「王」の言動に着目して、人物の考え方や心情の変化を読み取っている。 ・「メロス」の行動や考え方で共感できたところ・できなかったところを、自分の知識や経験と結び付けて考えている。 ・登場人物の人物像や表現のしかたなど、観点を明確にして作品の魅力を文章にまとめている。 【態】粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。		ABCDEF IL
	漢字に親しもう6	【知・技】文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。		
	文法への扉3 一字違いで 大違い	【知・技】助詞・助動詞の働きや種類について理解し、文や文章で使われている助詞や助動詞の意味・用法を判別している。 【態】今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。		
3	構成や展開を工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書 く	【知・技】これまでに学習した作品の構成や展開を振り返り、どんな点を自分の文章に生かしたいかを考えている。 【思・判・表】 ・起承転結の流れで構成を考え、場面の展開が明確になるように、それぞれの場面での出来事や心情を整理している。 ・書いた物語を友達と読み合い、よい点や改善点を伝え合っている。 【態】粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。		
	言葉3 話し言葉と書き言 葉	【知・技】話し言葉と書き言葉について、それぞれの特徴を理解し、表現する際にどのような注意が必要かを考えている。 【態】今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。		
	漢字3 送り仮名	【知・技】送り仮名に注意して、漢字を読んだり書いたりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり、書いたりしようとしている。		
	国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁 新聞を作る	【知・技】 ・結論を見出しに、詳細を本文に書くなど、構成を工夫して記事を書いている。 ・壁新聞のテーマを話し合う際に出た意見を、表などを用いてまとめている。 【思・判・表】 ・壁新聞のテーマと内容について、お互いの意見の共通点・相違点を明らかにしながら話し合い、結論を導いている。 ・伝えたいことの優先順位を考えて、記事の大きさや割り付けを工夫している。 ・読み手の立場に立って推敲し、表現を工夫している。 【態】粘り強く文章の構成や展開を工夫し、今までの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。		
	木	【知・技】「愛」、「正義」などの抽象的な概念を表す言葉に着目し、詩の中での意味を考えている。 【思・判・表】自分の知識や経験と結び付けて、作者のものの見方について考えている。 【態】進んで詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。		

	学習を振り返ろう	【知・技】 - 相手の心が動くように、卒業生に贈る言葉を選び、その理由を考えている。 - 敬語の働きを理解し、電子メールの下書きを推敲している。 - 根拠を明確にして、卒業生に贈る言葉について書いている。 【思・判・表】 - 教科書の「アイスプラネット」と長編版「アイスプラネット」とを比較して読み、物語の設定の違いを捉えている。 - 教科書の「アイスプラネット」と長編版「アイスプラネット」とを比較して読み、登場人物の違いによって、どんな展開の可能性が加わるかを考えている。 - 卒業生に贈る言葉を考え、出典や理由を明らかにして、話の構成を工夫している。 「卒業生に贈る言葉」についての大川さんの提案を論理の展開に注意して聞き、話し手の伝えたいことを捉えている。 - 気持ちや用件が的確に伝わるように電子メールを書いている。 - 読み手の立場に立ち、表現の効果を考えて電子メールを推敲している。 【態】進んで登場人物の設定のしかたや根拠の適切さを考え、今までの学習を生かして、学習課題に取り組もうとしている。		
--	----------	---	--	--